

○SRC18 Classic 本選要項

日程：2022 年 3 月 26 日（土）, 27 日（日）

事前調査（Google フォーム）

25 日（金）までに必ずお答えください。

URL：<https://forms.gle/Ef5uG5wkrjUvc9kz5>

会場：選手の自宅（もしくは学校など会場）から Zoom にて e-kagaku の会場（いわき）に接続していただき、リアルタイムにて行います。

方式：コースは競技会場（いわき）に設営されており、選手はロボットのプログラムを会場に送信し、競技会場にいるサポーターがビルド・ダウンロード・実行を行います。競技に使うロボットは e-kagaku の用意する e-Gadget もしくは C-Cubic を搭載したキャタピラー付きの車両を使用します。

対象：SRC18 公式予選（三次予選）で選抜された 8 チーム

競技概要：選手は前日開示された課題をもとに自宅（地上局）で Code（又は C-style）を用いてプログラムを作成します。作成したプログラムを原則 Google フォームを用いて競技会場（月面）へ送り、審判がビルド・ダウンロード・実行を行います。選手は、走行の様子を中継する Zoom 映像を通して見ることができ、競技ロボットの状態・挙動を把握、プログラムの改善、送信を繰り返して課題に取り組みます。課題はこれまでに使用してきた S 字コース、ひょうたんコースを用いない新たなものになります。具体的な課題の内容は、本選前日にオンラインで発表します。競技の様子は Zoom で一般の方に向けてライブ配信いたします。

<ロボット>

ロボット本体：キャタピラー付き車両（e-gadget 又は C-cubic を搭載）

センサー/基本装備：超音波センサー、赤外線センサー、傾斜センサー、ブザー

※超音波センサーは、スタート地点を変えるなど、変数の調整が必要な作業に用いるものであり、ミッションに使用する予定はありません。地方予選などでのタッチセンサーの役割を担います。

傾斜センサー仕様書[傾斜センサーマニュアル](#)

<提出するコード>

形式： 拡張子が「.c」のファイルを送信してください。

※その他の形式のファイルでは、プログラミングの実行は行えません。

C-Style で作成した方は、ビルド時に「.Csy」があるフォルダと同じフォルダ内に「.c」のファイルが生成されます。

提出方法： 原則、当日開示する Google フォームにて提出を行っていただきます。チーム名、作成番号を入力し、拡張子が「.c」のファイル（実行したいプログラム）添付して提出していただきます。

※コートにより提出先が異なるため、自身のコート番号と Google フォームに記載の番号が一致しているかをご確認下さい。

成績評価： 本選は1対1のトーナメント形式にて行います。三次予選とは異なり、1対1での勝者の確定は、1つの競技の結果にて行います。同点の場合の判定などはルールブックに記載しています。